

お茶の水女子大学附属図書館では、2007年、自習やグループ学習など学生の目的に応じた学習の場と人的支援体制を備えたラーニング・commonsを設置した。現在全国の大学に広く普及しているラーニング・commonsの先駆けとして知られている。

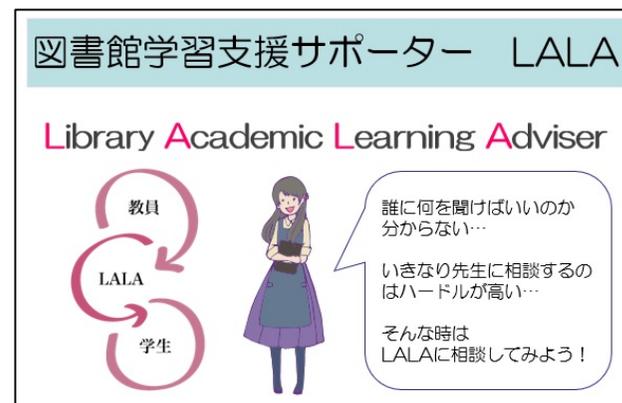
また、同年には学生と職員の協働による図書館活性化のための取り組み「LiSAプログラム」を、2014年には大学院生による学習相談デスク「LALAデスク」を開始するなど、学生の学びや成長につながる活動も積極的に実施している。

「LiSA (Library Student Assistant: りさ)」は学内インターンシップの一つであり、職員が提示する業務とLiSAメンバーによる自主企画をもとに、学生自身が業務計画を組み立てて実践している。自主企画としては、各学科図書室の学内者向け利用案内作成、LiSAが選書・管理・運営を行う「キャリアカフェ文庫」、本の紹介イベント「ブックトーク」「ビブリオバトル」などが挙げられる。職員やメンバーとコミュニケーションを取りながら、メールの書き方や業務の進め方など社会人に必要な基礎力を身につける機会にもなっている。図書館への就職を目的とした活動ではないものの、LiSAでの経験を活かして国立国会図書館や大学図書館に就職する学生を毎年のように輩出している。

「LALA (Library Academic Learning Adviser: らら)」は大学院生によるティーチングアシスタントで、ラーニング・commonsに常駐して学生のレポート作成や文献検索をサポートしている。学習・研究の進め方を解説するセミナー等も開催しており、学生の気持ちが理解できる先輩として、また教員への橋渡し役として活動している。



ラーニング・commons内のLALA相談スペース(2019年)



参考URL

- ・LiSA活動日誌(ブログ) <http://ochadailisa.blog32.fc2.com/>
- ・LALA Tips(ブログ) <http://ocha-lala.org/>